

# 次大夫堀公園民家園再整備基本構想（概要）

## 計画策定の主旨

世田谷区では昭和55年に岡本公園民家園、昭和63年に次大夫堀公園民家園を開園し、文化財古民家の保存にあたってきました。両民家園はいろいろで火を焚き、手に触れ、失われた過去の生活を追体験できる体験型の学習施設として運営してきました。その手法はそれまでの保存中心の文化財建造物の維持管理から活用を中心とした維持管理へ一石を投じるものでした。両園は博物館施設として、古民家を中心とする歴史的建造物の公開展示、地域の民俗資料や歴史資料の収集展示、調査研究などを行う「生きた古民家」、「開かれた文化財」を主眼に置いた野外博物館として発展してきました。

次大夫堀公園民家園は一軒の屋敷を再現した岡本公園民家園とは特色を異にし、農業用水路であった次大夫堀を復元した公園の中にかつての集落を再現しています。そこには古民家の他、里山や水田、畑、街道などを配し、そこでの暮らしと環境を含めた農村風景の再現に取り組んでまいりました。

開園より30年を経て、社会環境が大きく変化し、かつての生活文化に触れる機会が少なくなり、伝統文化を伝えていくことが困難になっています。また、ボランティア事業の充実などに伴って施設全体の見直しが必要になっています。公園用地が拡張されることから民家園の機能の検証を行い、新たなゾーニングの検討など配置計画を含めた園全体の再整備と運営方針の見直しを進めていくことが必要になっています。

## 基本計画の考え方

### 現状の課題と解決の方向性

- ①指定文化財や里山などの環境を含めた、適切な維持管理  
→・保存活用計画の策定による適切な維持管理  
・無形文化財の活性化を助ける活動の充実
- ②東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催も視野に入れた区民が楽しめる民家園活動の充実  
→・ボランティアコーディネーターを導入し、ボランティアの自主活動を促す仕組みづくり  
・体験学習
- ③拡張用地の活用  
→・里山、水路、田畑の位置付けと活用内容の見直し  
・区指定有形文化財旧棚網家住宅板倉と水車の復元  
・周辺地域と一体となった施設の再整備
- ④郷土資料館と連携した博物館事業の充実  
→・調査研究等、学芸活動の充実  
・各施設の横断的な事業企画運営

### 民家園の村づくりの時代設定と想定地域

- ・時代設定：江戸後期から昭和初期
- ・想定地域：世田谷

### 村を構成する要素

村を構成する要素は、大きく以下の4つに分類することができます。人々が暮らしを営む中で、これらの要素が相互に関連しながら村がつくられてきました。

環境	・用水、水田、畑、里山、道など、暮らしに関連した歴史的農村景観
屋敷・すまい	・区指定有形文化財である古民家、付属屋、屋敷林などで構成される屋敷構え
暮らし	・農村の日常生活（衣、食、住、野良仕事、シバ刈りなど） ・民間歴、民間信仰、年中行事などの習俗 ・伝統芸能など ・農村文化に関する農具、生活用具など
なりわい	・農業や養蚕などの諸職 ・鍛冶や木挽きなどの伝統技術 ・なりわいに関する諸職の道具

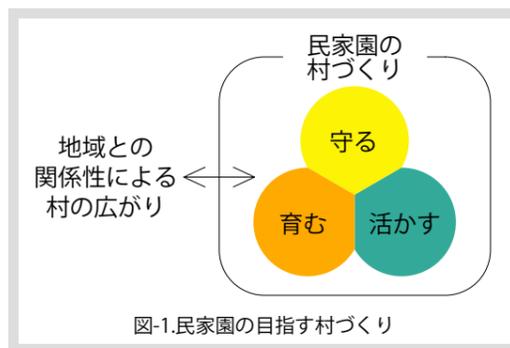


図-1.民家園の目指す村づくり

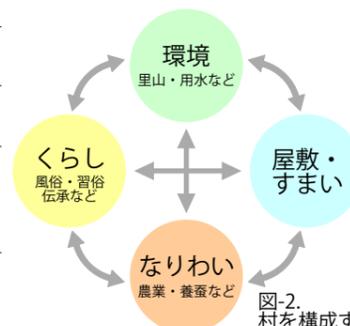


図-2.村を構成する要素

## 基本理念

### 守り、育み、活かす 民家園の村づくり

これからの次大夫堀公園民家園は、これまで発展してきた基本的な運営理念や修景をベースに、環境、屋敷・すまい、暮らし、なりわいを構成要素の中心において、江戸時代後期から昭和初期の世田谷の各地にみられた村を再現していきます。村はぶらりと訪れる人や自ら何かを創ろうとする人、そのほか民家園に集う全ての人々が主人公になってつくられます。民家園では文化財の保存を基本としながら、かつての農村の暮らしを伝えていきます。里山や田畑など歴史的環境の中で生活を支える生業が営まれ、そこでの日々の暮らしを送ることができる村をつくることを目指していきます。民家園の文化財や環境、そしてそれを取り巻く地域の文化を含めて、守り、育み、活かすことにより村づくりを実現していきます。さらには、次大夫堀公園民家園の外側にある歴史的環境や風景、伝統行事などとも関連を持ち、周辺地域も包括したかつての世田谷の風景や住環境を思い起こすことができる仕組みをつくりまします。

## 基本方針

### 守る

- 1) 世田谷区の貴重な歴史的遺産を守る  
①移築復原した区指定有形文化財建造物  
②文化財等（建造物、民具、石造物、史料、職、食、植生など）

- 2) 次大夫堀の水路を核とし形成された公園の水田や農村集落などの景観や環境を保全する

- ①既存流路を活かして復原した次大夫堀（用水）と文化財建造物等で形成した歴史的農村景観の保全
- ②これまで形成してきた周辺公園等の環境保全
- ③地域の歴史的文化的の保全

- 3) 世田谷の歴史文化の保全、調査・研究に取り組む

- 4) 次の世代に継承するため、適切な維持・管理を行う

### 育む

- 1) 民家園の村づくりを通して、世田谷の歴史文化を継承する人を育む

- 2) 世田谷の歴史文化を守り、活かす場として次大夫堀公園及び民家園を育む

- 3) 次大夫堀公園を核として、周辺地域の歴史的な景観、環境を育む

### 活かす

- 1) 公園として活かす  
歴史遺産、歴史的農村集落景観等の空間、時間を体感でき、休憩できる場

- 2) 学びと創造の場として活かす  
歴史的遺産や喜多見の農村集落文化、郷土を学び継承する場

- 3) 世田谷の歴史的な暮らしや、なりわいを体験する場として活かす  
村の生活（衣食住）を追体験できる場

- 4) 世田谷の歴史文化の魅力や文化を伝え、継承していく場として活かす  
周辺歴史遺産等との連携事業の展開、周辺公園、同類施設、資料館等との連携、情報共有、配信など